# 平成29年度病害虫発生予報第4号（7月予報）

＜今月のコラム＞　・農薬危害防止運動について

・高温に関する情報について

＜お知らせ＞　さとうきびにおけるメイチュウ類の発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/meichu.html

マンゴーにおけるチャノキイロアザミウマの発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/chanoki.html

## 今月のトピックス

## クロゲハナアザミウマ（キク）

学名：*Thrips nigropilosus*




## 生態と被害

アザミウマ類は、栽培キクの葉にかすり状の白い傷と黒褐色の汚斑を引き起こす主要害虫である。沖縄県では、キクに発生する主要なアザミウマはミナミキイロアザミウマであるとされてきたが、2012年の調査で本種が最優占種となっていることが判明した。本種は、キク以外では、レタス、ハンダマ（スイゼンジナ）、ウリ科類、ナス科類、スペアミントなど多様な作物を加害する。成虫の体長は雌約1.3mm、雄約1.0mm、体色は淡黄色。ミナミキイロアザミウマに似るが、前胸と有翅胸節に黒褐色のまだら模様があることで区別できる。

成虫・幼虫共、主に葉裏に生息する。卵は植物組織に産み込まれる。老熟した幼虫の大半は土壌表面や落ち葉の中で蛹化する。卵から成虫までの発育期間は、25℃では約15日である。

被害は葉の両面に現れるが、葉裏に多い。本種による病原体の媒介は確認されていない。

防除対策として、ほ場周辺の除草、定植時の粒剤処理、地際の脇芽の早期除去、発生初期の薬剤散布により徹底防除する。散布薬剤は葉裏にかかるよう、丁寧に散布する。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成29年6月30日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー